

◆ 8月から延期されていた久しぶりの回収日。堀会長が、キャリーカートのタイヤに空気を入れて、調整します。民家の玄関先に集積してある新聞紙や雑誌など回収車（青パト）に積み込んでいきます。





◆ 各戸をまわり、満杯載せて黒石グラウンドまで運んできます。
マスクをかけていましたが、
猛暑の時期と異なり、作業しやすい気温・湿度でした。





◆ペアを組み、荷崩れしないよう配置を見定めたり、高学年のお兄さんが、アドバイスをして運んでいました。

「これ、落ちそうだ！」
「持ってきな（「押さえて運ぶといいよ」の意）」







◆次々に回収されてくる物の中には、回収しないものも含まれています。仕分けの際、今回は、グローランプが見つかりました。皆さん、ご留意くださると助かります。



◆e-クラブのトラックが、徒歩で困難な場所を隈なく回り、
大型の段ボールや新聞紙・ビン類などを運んで来ます。



◆ 新しい生活様式の“おうち飲み“の焼酎の瓶など重たい物は、e-クラブのトラックが運びました。



◆e-クラブの皆さん、徒歩で回収してきた子ども会の皆さん、自治会役員の皆さん、ボランティアの皆様、お疲れさまでした。また、黒石団地区自治会会員のみなさま、ご協力有難うございました。

